

事業所名	グループホーム中央 (クリックすると事業者の情報にリンクします)
日付	平成19年 1月30日
評価機関名	㈱東京リーガルマインド (クリックすると評価機関の情報にリンクします)
評価調査員	A:現職 生活指導員 資格・経験 身体障害者職業生活指導員、社会福祉主事、 ヘルパー2級 、介護支援専門員 B:現職 理学療法士 資格・経験 理学療法士、介護支援専門員、ガイドヘルパー講師
自主評価結果を見る	(事業者の自主評価結果にリンクします)
評価項目の内容を見る	(評価項目にリンクします)
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります！)	(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	<p>入居者にその人らしい生活の継続をしてもらうため、家庭的な環境の中で優しいある介護を行い、入居者の自立を目指し支援している。</p> <p>職員は、交代で外部研修に行き、研修内容について月1回は施設内で研修・勉強会を開き、心のこもった優しいケアの実現を目指している。</p> <p>寝たきり状態であった入居者が、職員との関わりにより離床でき、会話もされるようになった。管理者はチームケアの充実を心掛け、職員は誇りを持って介護に携わっている。</p> <p>安全・安心を第一に、入居者が穏やかに落ち着いて気持ち良く生活できることを目指している。</p> <p>季節感溢れる、バラエティーに富んだ食事を提供し、食べる楽しみと潤いのあるホーム生活の実現に向けて努力している。</p> <p>入居者と家族の関係が希薄にならないようにホームが橋渡し役となり、面会時には家族と一緒にお茶をいただくなど、コミュニケーションを大切にしている。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>職員の穏やかな態度が、入居者に良い影響を与えている。潤いのある介護に繋がるように、管理者は職員の意見・思い等何でも話をよく聞き、職員がスッキリとした気持ちでケアに臨めるように努めている。</p> <p>母体法人の関連施設との連携がホーム生活を豊かにし、入居者の社会生活の活性化と落ち着きにもなっており、老人福祉施設を始め、併設施設との合同事業に積極的に参加している。</p> <p>入居者がやりたい時にやりたいことが出来るように、お手玉・習字道具等活動意欲を促すものをいつでもテーブルに用意しており、自由で居心地の良い雰囲気作りを努めている。</p> <p>入居者の自主性を大切にし、サービスの押し付けをせず、さりげない介護を行っている。見守りの中にも孤立感を与えないよう、職員は入居者の話を最後まで傾聴し、入居者の心が落ち着くように配慮している。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

外部評価の結果

講評
全体を通して特に良いと思われる点など(記述)
<p>東北の小高い山の中腹にあり、四季の変化を直接感じられる自然環境に恵まれている。津山市街にも比較的近く、風光明媚なロケーションである。</p> <p>母体法人である老人福祉施設を中心に、7つの高齢者介護事業所が同一敷地内に併設されており、緊急時の対応・情報の共有等、系統的・機能的に協働・連携が取れている。</p> <p>隣町の総合病院ともしっかりとした連携があり、24時間連絡可能で、緊急時には直ちに対応してもらえ、入居者は安心してホーム生活を送れる。</p> <p>職員の物腰は柔らかく、入居者に話し掛ける声も優しい。朝出勤した時には、先ず一緒にお茶を飲んで語り合い、落ち着いた精神状態で介護に着手しており、入居者にも良い影響をもたらしている。</p> <p>ホームの建物は採光にも工夫しており、明るく広々としている。天井も高く、木材をふんだんに使い、柔らかな雰囲気を出している。広く開放的な玄関がーチには花壇やベンチがあり、ゆっくり日光と外気を楽しめるように配慮している。</p> <p>管理者は栄養士の資格を持ち、『健康維持の第一歩は食にあり』としたコンセプトに沿い、朝3品・昼6品・夕5品とバラエティーに富んだ季節感の溢れる食事内容である。</p> <p>入居者・家族の負担に配慮して利用料金を廉価に設定しており、大変喜ばれている。</p>
特に改善の余地があると思われる点(記述)
<p>開設2年目のホームで、職員間のチームワークが良く取れている。更に、地域の方々・家族との連携・強調を進められるならば、地域・家族との間により深い信頼が生まれ、地域福祉の中核となるグループホームになっていくと思われる。</p>

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>習字道具がいつも置いてあり、習字の先生だった人には書いてもらい、川柳の好きな人には詠んでもらう等、過去の経験・趣味を活かして尊重するようにしている。</p> <p>入居者個人の相談・話し合いについては、居室で行っている。居室に入る時には、声かけをして了解を得てから入り、着替えは自分の部屋でもらう等、個人のプライバシーに配慮している。</p> <p>個人に関する記録類は、事務室で管理者が責任を持って保管しており、個人情報にはしっかりと管理されている。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)		
	<p>バス・トイレ・電話、宿泊用寝具も揃えた家族交流室を設置し、地域運営推進会議にも活用しており、家族・地域との連携に力を入れ、また、家族にも満足してもらえる介護が出来るように努めている。</p> <p>2ヶ月ごとに地域運営推進会議を開催して地域への啓発を行い、地域関係者の意見も積極的に取り入れてサービス向上に努力している。</p> <p>サービス関係のマニュアルが整備されており、誰が介助しても安全・安心のケアが提供できるように配慮している。</p> <p>些細な事故・トラブル・ヒヤリハットを記録に残し、「事故処理書つづり」としてまとめ、事故・トラブルの再発防止に努めている。年6回、夜間・昼間を想定して避難訓練を実施している。</p>		